

# ふくしま農業女子ネットワーク 農女びより



百笑一姫の  
Fukuがある  
ネットワーク  
のロゴマーク



はちみつを使った6次化商品開発にも積極的に取り組む折笠さん

▶ふくしま農業女子ネットワーク(愛称:百笑一姫♡Fukuがある)情報「Fukuがあるのアグリガーデン in Iwaki」は22日午前9時から午後2時まで、いわき市好間町の大和田自然農園で開かれます。メンバーの手掛けた農産物や加工品を販売するほ

か、石焼きピザやモモのスムージーなどが作れる体験コーナーやマルシェなどを多彩に繰り広げます。入場無料。体験コーナーと同農園のブルーベリー狩りは有料。問い合わせは事務局 県農業担い手課 電話024(521)7340へ。



おりかさ  
折笠 ルミ子さん(郡山市)

## 奥深い はちみつ 魅了

以前は宝塚歌劇団の花組が大好きなのんびりしたパート主婦でした。代々続く農家の嫁ですが、農業には全く興味のなかった私。養蜂に携わることになるとは思ってもいませんでした。

きっかけは養蜂を営んでいた義父のひと言でした。それまで農業のことをあまり深く考えることはなかったのですが、「このままなくしてはいけない!」と使命感に燃え、義父の後を継ぐことにしました。昨年6月から義父に教わりながら養蜂を始め、米養たっぷりの非加熱のはちみつを販売しています。6次化商品開発にも取り組んでいます。本当は、虫は苦手なのですが、わ

が家のミツバチたちは別。一匹二匹が、わが子のようにかわいくのです! 採取できるはちみつはアカシアや菜の花など花や季節ごとにさまざま。地域や年、月によって味わい

が変わるはちみつの奥深さに、ますます魅了されています。このおいしさをお客さまに伝えていきたいという思いが、日々強くなっています。私の住んでいるのは郡山市のいわゆる中山間地域。年配の方が多く後継者がいない状態で、数年後には農家がなくなり荒廃地ばかりになってしまふのではと危惧しています。そうならないためにも、私1人の力では変わらないかもしれませんが、できることから取り組んでいきます。

山奥でも、農業・6次化商品開発で活動する姿を発信し続け、将来、就農しようという若者が増え、地域活性化につながればいいと思います。今でも、葛藤と悩みの連続です。それでも「はちみつ、おいしいね!」と言ってくださる声を聞く度、自分を奮い立たせています。また、明日も頑張ろう!

◆プロフィール◆ 伊達市保原町出身、郡山市在住。夫と夫の両親、祖母と愛犬「アンジュ」の6人家族。義父と共に養蜂農業を営むほか、野菜やコメの栽培も行う。はちみつを使った6次化商品開発にも取り組み、三春町の三春ハーフ花ガーデン内にある「FUKUSHI MARKET」で販売、店番もしている。